



## 2020年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年9月10日

上場会社名 セルソース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4880 URL <https://www.cellsource.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 裾本理人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 雨宮猛 (TEL) 0364555308  
 四半期報告書提出予定日 2020年9月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 投資家・アナリスト向け )  
 (百万円未満切捨て)

## 1. 2020年10月期第3四半期の業績 (2019年11月1日～2020年7月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第3四半期	1,311	11.9	252	10.9	250	12.2	158	8.7
2019年10月期第3四半期	1,172	—	227	—	222	—	145	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年10月期第3四半期	79.42		74.61					
2019年10月期第3四半期	101.20		—					

- (注) 1. 2018年10月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2019年10月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。  
 3. 2019年10月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2019年7月31日において非上場であり、期中平均株価を把握できませんので記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第3四半期	2,134	1,923	90.1
2019年10月期	1,842	1,607	87.3

(参考) 自己資本 2020年10月期第3四半期 1,922百万円 2019年10月期 1,607百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年10月期	—	0.00	—	—	—
2020年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年10月期の業績予想 (2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,972	22.4	365	11.9	365	20.6	234	17.6	117.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年10月期3Q	2,035,200株	2019年10月期	1,920,000株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2020年10月期3Q	43株	2019年10月期	—株
-------------	-----	-----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年10月期3Q	1,994,374株	2019年10月期3Q	1,440,000株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合法的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年9月10日（木）に、オンラインによる投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、「再生医療関連事業」と「コンシューマー事業」を行っており、報告セグメントは当該2つの報告セグメントであります。「再生医療関連事業」では、脂肪由来幹細胞加工受託サービス、血液由来加工受託サービス及びFatBankサービスで構成される「脂肪・血液由来の組織・細胞の加工受託サービス」、医療機関に対し再生医療等安全性確保法に関連する書類作成等のサポートを行う法規対応支援サービスやKPIによる経営管理手法や人材マネジメント手法をサポートする経営管理支援サービスで構成される「コンサルティングサービス」及び医療機関が患者から脂肪等を採取するために必要となる機器を販売する「医療機器販売」を主に行っております。「コンシューマー事業」では、主に自社化粧品ブランド「シグナリフト」の美容液、クリーム、洗顔ジェル等、一般消費者向けの化粧品の製造販売を行っております。

当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,311,961千円（前年同期比11.9%増）、売上総利益は877,508千円（前年同期比4.0%増）、販売費及び一般管理費は624,718千円（前年同期比1.5%増）、営業利益は252,790千円（前年同期比10.9%増）、経常利益は250,019千円（前年同期比12.2%増）、四半期純利益は158,385千円（前年同期比8.7%増）となりました。

報告セグメント別の実績は、以下のとおりです。

#### (再生医療関連事業)

再生医療関連事業では、加工受託サービスまたはコンサルティングサービスの契約を締結した当第3四半期末での提携医療機関数が468院（前年同四半期末から231院増加）と順調に増加いたしました。また、有効な治療効果などを受け提携医療機関の受託サービス利用の稼働率も上昇しております。その結果、当第3四半期累計期間における脂肪由来幹細胞加工受託サービスと血液由来加工受託サービスを合計した加工受託件数は5,527件（前年同期比2,115件増加）となるなどし、加工受託サービス、コンサルティングサービス、医療機器販売ともに順調に売上が拡大いたしました。なお、加工受託サービスにおきましては、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大に伴い、加工受託件数が第1四半期会計期間（11月～1月）の1,922件から第2四半期会計期間（2月～4月）は1,559件へ減少するなどの影響を受けておりましたが、第3四半期会計期間（5月～7月）は2,046件まで復調しております。

売上の増加に比し販売費及び一般管理費の増加幅が抑制された結果、当第3四半期累計期間のセグメント利益率（営業利益率）は49.3%と前年同期の47.9%から1.4%改善いたしました。

これらの結果、本報告セグメントの当第3四半期累計期間の売上高は1,182,856千円（前年同期比43.7%増）、セグメント利益は583,311千円（前年同期比47.9%増）となりました。

#### (コンシューマー事業)

コンシューマー事業では、化粧品等のEC広告環境の変化を受け、前事業年度後半から自社Webサイトでの広告出稿手法や価格戦略の大幅な転換を図るとともに、大手ドラッグストア「トモズ」等店舗での販売強化も段階的に進めておりますが、これら販売戦略変更に伴う成果は現時点では具現化しておりません。

これらの結果、本報告セグメントの当第3四半期累計期間の売上高は129,105千円（前年同期比63.0%減）、セグメント損失は19,524千円（前年同期は66,864千円の利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第3四半期会計期間末における総資産は2,134,259千円と前事業年度末から292,016千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が192,741千円増加したこと及び売掛金が59,011千円増加したことによるものであります。

#### ②負債

当第3四半期会計期間末における負債は211,126千円と前事業年度末から23,412千円減少いたしました。これは主に、前受金の減少などによる流動負債その他が49,447千円減少した一方で、買掛金が17,980千円増加したことによ

るものであります。

③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産は、資本金78,295千円及び資本準備金が78,295千円増加したことに加え、四半期純利益158,385千円の計上により、前事業年度末から315,429千円増加し、1,923,132千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の業績予想につきましては、2019年12月12日に公表いたしました予測値から変更はありません。

第2四半期(2～4月)後半から第3四半期(5～7月)の中盤にかけ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う再生医療関連事業における加工受託売上の減少等がありましたが、緊急事態宣言解除以降の加工受託件数の復調により第3四半期後半から加工受託売上もV字回復をみせていることを鑑み、業績予想は据え置いております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,333,551	1,526,293
売掛金	135,733	194,745
商品及び製品	99,261	109,193
仕掛品	43,428	18,887
原材料及び貯蔵品	22,285	33,775
その他	21,731	67,097
貸倒引当金	△1,562	△2,232
流動資産合計	1,654,429	1,947,760
固定資産		
有形固定資産	73,020	81,133
無形固定資産	4,244	5,858
投資その他の資産		
その他	115,248	104,206
貸倒引当金	△4,700	△4,700
投資その他の資産合計	110,548	99,506
固定資産合計	187,813	186,498
資産合計	1,842,242	2,134,259
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,631	32,612
未払法人税等	47,012	50,938
賞与引当金	—	7,208
受注損失引当金	1,152	448
その他	167,456	118,008
流動負債合計	230,253	209,217
固定負債		
その他	4,285	1,908
固定負債合計	4,285	1,908
負債合計	234,539	211,126
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	593,424	671,719
資本剰余金	503,424	581,719
利益剰余金	510,855	669,241
自己株式	—	△642
株主資本合計	1,607,703	1,922,038
新株予約権	—	1,094
純資産合計	1,607,703	1,923,132
負債純資産合計	1,842,242	2,134,259

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年11月1日 至2019年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年11月1日 至2020年7月31日)
売上高	1,172,202	1,311,961
売上原価	328,759	434,453
売上総利益	843,442	877,508
販売費及び一般管理費	615,538	624,718
営業利益	227,904	252,790
営業外収益		
受取利息	1	7
雑収入	—	79
営業外収益合計	1	86
営業外費用		
支払利息	49	228
上場関連費用	4,643	—
株式交付費	—	886
為替差損	293	1,742
その他	—	0
営業外費用合計	4,986	2,857
経常利益	222,919	250,019
税引前四半期純利益	222,919	250,019
法人税、住民税及び事業税	70,119	87,892
法人税等調整額	7,074	3,740
法人税等合計	77,194	91,633
四半期純利益	145,725	158,385

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年11月27日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株発行72,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ75,513千円増加しております。また、新株予約権の権利行使による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,782千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が671,719千円、資本準備金が581,719千円となっております。

さらに、単元未満株式の買取請求による自己株式の取得を行ったことにより、自己株式が642千円増加しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	再生医療関連 事業	コンシューマー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	823,307	348,895	1,172,202	—	1,172,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	823,307	348,895	1,172,202	—	1,172,202
セグメント利益又は損失(△)	394,290	66,864	461,154	△233,250	227,904

(注)1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△233,250千円は、各報告セグメントに含まれない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	再生医療関連 事業	コンシューマー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,182,856	129,105	1,311,961	—	1,311,961
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,182,856	129,105	1,311,961	—	1,311,961
セグメント利益又は損失(△)	583,311	△19,524	563,786	△310,996	252,790

(注)1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△310,996千円は、各報告セグメントに含まれない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## (重要な後発事象)

## (株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2020年9月10日の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

## (1) 株式分割の目的

株式分割を行うことで、当社株式の投資単位あたりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的としております。

## (2) 株式分割の概要

## ①分割方法

2020年10月31日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割いたします。

## ②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数 2,035,200株

今回の分割により増加する株式数 4,070,400株

株式分割後の発行済株式総数 6,105,600株

株式分割後の発行可能株式総数 17,280,000株

(注) 上記は2020年7月31日現在の発行済株式総数に基づくものであり、2020年8月1日から株式分割の基準日までの間に新株予約権の行使等により増加する株式数は含まれておりません。

## ③分割の日程

基準日公告日 2020年10月16日

基準日 2020年10月31日

効力発生日 2020年11月1日

## ④1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりです。

項目	前第3四半期累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
1株当たり四半期純利益	33.73円	26.47円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	24.87円

(注) 前第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2019年7月31日において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

## (3) 株式分割に伴う定款の一部変更

## ①定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2020年10月31日をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更いたします。

## ②定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線は変更箇所を示しております。)

現行定款	変更後の定款
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>576万株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>1,728万株</u> とする。

## ③定款変更の日程

効力発生日 2020年11月1日

## (4) その他

## ①資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

## ②新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たり行使価額を2020年11月1日以降、以下のとおり調整いたします。

名称	調整前行使価額	調整後行使価額
第2回新株予約権	123円	41円
第3回新株予約権	180円	60円
第4回新株予約権	180円	60円
第5回新株予約権	1,850円	617円
第6回新株予約権	10,600円	3,534円